

ホールクroppサイレージ用イネ栽培における 地耐力確保法と収穫体系別の特徴

水田におけるホールクroppサイレージ(以下WCS)用イネの栽培では、6月下旬(主食用米と同時期)から中干しを開始し、出穂揃い頃に落水します。その結果、地耐力が確保され、機械収穫作業が容易になり、良質なサイレージ調製が可能になります。収穫作業能率は、イネWCS専用収穫機体系で3.1時間/ha、牧草用収穫機体系で7.7時間/ha程度です。また、収穫ロスもWCS用専用収穫機体系の方が少ないです。

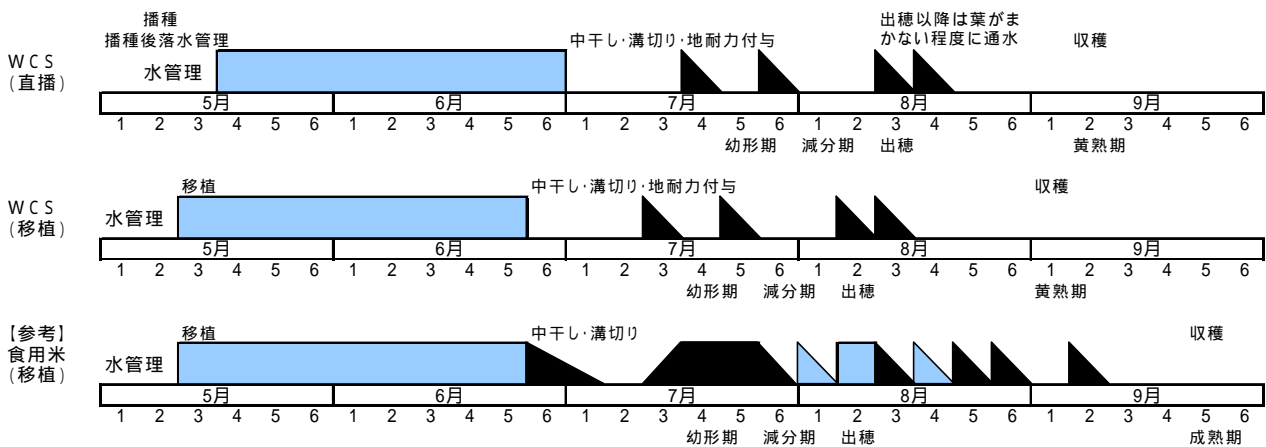


図1 圃場水管理のイメージ

イネWCS専用収穫機体系

作業名:	刈取・梱包
作業機械:	飼料イネコンバインベアラ タカキタWB-1000



運搬・ラッピング	(運搬車へ)
自走式ボールラップ2台 タカキタSW1010W	



牧草用収穫機体系

作業名:	刈取
作業機械:	トラクタA(50PS) ディスクモア 作業巾1.5m

作業名:	集草
作業機械:	トラクタB(25PS) ヘイレーキ 作業巾1.5m

作業名:	梱包
作業機械:	トラクタA ロールベアラ 作業巾0.9m

作業名:	運搬
作業機械:	トラクタC(35PS) ヘイホーク

作業名:	ラッピング
作業機械:	トラクタB ボールラップ

作業名:	運搬
作業機械:	トラクタD グラブ付ローダ

(運搬車へ)

図2 収穫作業行程

表1 各収穫体系の特徴

項目	イネWCS専用収穫機体系	牧草用収穫機体系
組作業人数	3人	4人(トラクタ4台体系)
作業能率	3.13h/ha	7.75h/ha
収穫ロス	少ない(2%程度)	多い(20~25%)
初期投資	大きい	小さい

担当研究室 農産部 水田作研究室、生産工学研究室、畜産研究所 飼料生産研究室

〒024-0003 北上市成田20-1 TEL. 0197-68-4412 FAX. 0197-71-1081(農産部)

〒020-0173 岩手郡滝沢村滝沢字砂込737-1 TEL. 019-688-7317 FAX. 019-688-4327(飼料生産研究室)